

東大阪市 GIGA スクール通信

No.5 2022.9

個別最適な
学び

つながり互いに
高めあう学び

創造し
表現する学び

未来に生きる力を育む 未来創造プロジェクト

特別なものでなくなり、異なる職種や文化など、多様な背景を持つ人と、ICTを活用して関わり合い協力して業務を進めることが一般的になっています。そのような状況を踏まえ、今年度、東大阪市では、子どもたちが新しい社会でより良く生きていくための力を育む取組みの一つとして、徳島県教育委員会と連携して、「未来創造プロジェクト」を実施しています。

未来創造プロジェクトは、オンライン授業のモデル（ICTを活用した効果的な学習モデル）を研究する取組みです。離れた場所にある2つの小学校の子どもたち（今年度は、徳島県の小学校2校と東大阪市の意岐部東小学校、大蓮小学校の計4校の小学校5年生）がそれぞれペアとなって交流し、学びを深めます。

具体的には、WEB会議ツール等を使って、お互いの学びや地域のことなどを紹介したり、2校の子どもたちが合同のグループを作って共通のテーマを設定して調査分析したことを、アプリケーションの共有機能を使って協働作業でプレゼンテーションを作成したりします。

子どもたちは、リモートでの協働作業を通して、インターネット上の適切なコミュニケーションの取り方を学びます。また、異なる地域や環境で暮らす子どもたちと交流することで、お互いの地域の良さを再認識し、郷土愛を育みます。伝える相手を意識して、学んだことや考えをまとめたり意見交流する中で、学びが深まり、日常の教科の学びを生きた力へとするとともに、プレゼンテーション力、情報活用能力、調整力などの様々な力を育みます。

大蓮小ー南小松島小

6月17日（金）に第1回の交流として、子どもたちが自己紹介を行い、学校の様子や自分の好きなものを互いに共有しました。その後、7月8日（金）には、第2回の交流として、自分たちの町紹介を行い、班ごとにプレゼンテーションを行いました。

参加した子どもたちからは、「お互いマスコットキャラクターがいてびっくりしました。（中略）南小松島小学校の方が、ちゃんと拍手をしてくれて嬉しかったです。」などの感想が聞かれました。



意岐部東小ー足代小



9月5日（月）にお互いに顔合わせをして自己紹介をした後、9月7日（水）には、各クラスを5つのグループに分け、各グループごとにWEB会議ツールでつないで交流を行いました。

内容は、足代小学校の子どもたちから、獅子舞や太鼓、鐘などの鳴り物の紹介とともに、舞子の舞い方についても教えてもらいました。リズムに合わせて互いに楽しそうにダンスをする姿も見られ、最後には獅子舞の踊りも披露してもらいました。